水の部屋

話さない人ときみが言うから
ぼくはきみの好きな話をした

笑わない人ときみが言うから
ぼくはいつも笑顔でいたよ

寂しいときみが言うなら
ぼくはいつまでも側にいて
きみの心を抱きしめた

ぼくは
きみの望む、ぼくになり

ぼくの心の中には
水の部屋が出来たんだ

そこは
自分の涙を閉じ込める場所

ふれてしまえば壊れそうな
淡く優しい水の部屋

きみはきっと
見つけられないだろう

人は
人を変えていくのではなく
自分で変わっていくものなんだよ

他人だからこそ
血の繋がった人以上に
心を使って生きてくんだ

きみの心にも
水の部屋があったなら

ぼくはきみから
逃げたりはしなかっただろう